



七尾市議会議員

# やまざき 智之

山崎 ともゆき

「市民と歩む」

責任ある政治、次世代を守る。

## 自主防災の強化を！！

36回目の一般質問。 能登豪雨・台風21号による市内各地の被害を受けて、10億円を超える復旧予算が成立。

当時地域の一員として土嚢配布や道路規制、住民へ集会所開放など現場対応をしていた緊迫した状況を述べると共に、「自助・共助」の見直しと、緊急災害時の行政対応について、

◎ 豪雨時には、市役所「会議」より「現場」対応を優先

◎ 台風時には、市内全域に指示する「統一的対応」が重要

対策本部未設置「現場を優先」

永崎氏は、8月末の豪雨で市が災害対策本部を設置しなかった理由をたずねた。不嶋市長は「逼迫した状況で、市民を安全な場所に動かすことに全力を注いだ。本部を設置し指揮していたのでは遅い」とし、現場対応を優先した結果だったと説明した。  
これに対し、永崎氏は「災害時は本部の中で指揮命令を出すのが本来の形だ」と反論。「災害はないだろう」という軽い気持ちで、対応が遅れたのではないかと指摘した。  
災害対策本部については、10日の一般質問でも山崎智之氏(難会)が取り上げた。当時、浸水地域ではそれぞれ異なる柔軟な対応が必要だったとし、「災害は会議室で起きているのではなく、現場で起きている」として市の判断が適切だったと評価、議員間で見解が分かれた。

平成30年(2018年)9月12日(火)  
北國新聞 朝刊 29面

と述べ、引き続き協力体制を！！

### 避難所運営 地域と調整

山崎智之氏(難会) 災害時に地域が運営する避難所の運営計画について、市と地域で協議、調整がどのように進んでいるのか。



白田総務部長 市が策定したマニュアルを基に訓練を行い、

より機能的に運営するための手引を作り上げてほしい。  
山崎氏 個人事業の後継者不足への対応を聞く。  
前田産業部長 国の補助金を活用し、官民連携の支援組織「事業承継オーケストラ」を設立して取り組んでいる。

平成30年(2018年)9月11日(火)  
北國新聞 朝刊 25面